

平成26年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	総合科学技術・イノベーション会議の主体的な国際活動		担当部局	政策統括官 (科学技術・イノベーション担当)		作成責任者	-	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度・終了(予定)なし		担当課室	参事官(国際担当)		匂坂克久		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月19日閣議決定) 「科学技術外交の強化に向けて」 (平成20年5月19日総合科学技術会議決定) 科学技術イノベーション総合戦略 (平成25年6月7日閣議決定) 日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	諸外国の科学技術関係関係者や有識者との交流、国際会議の開催や出席、最先端の研究開発事例の視察等を通じ、諸外国の科学技術・イノベーション政策に関する最新情報を収集・分析することにより、各国と連携した我が国の科学技術・イノベーション政策の立案に資するとともに、地球規模の課題解決に向けた取組等の国際貢献を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術政策担当大臣と諸外国の関係との政策協議、総合科学技術・イノベーション会議有識者議員と諸外国の科学技術関連専門家との政策対話等を行う。 我が国での国際会議の開催、諸外国で開催される会議への参加、最先端の研究開発事例の調査等を行う。 これらを通じ、諸外国の科学技術・イノベーション政策に関する最新情報を収集・分析するとともに、我が国の情報を諸外国に向けて発信する。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	30	26	24	20	28	
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—	—
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—	—
		予備費等	—	—	—	—	—	—
		計	30	26	24	20	28	
	執行額	12	12	25				
執行率(%)	42%	44%	103%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)	
	総合科学技術・イノベーション会議の構成員である科学技術政策担当大臣の政策協議等や有識者議員の政策対話は、科学技術・イノベーションの政策に関する諸外国と科学技術外交の一翼を担うものであり、最新の政策等に関する情報交換に加え、科学技術分野での各国との中長期的な協力関係の維持・強化など、数値化できない外交的成果が中心となることから、一定の数値により成果指標を示すことはできないため定性的な目標を記載。 ・科学技術分野での情報交換や閣僚級の政策協議及び有識者議員による政策対話を積極的に展開し、我が国の科学技術政策の推進に繋がる各国との協力関係の維持・強化及び我が国のプレゼンスの向上を目指す。	成果実績	—	—	—	—	—	
		目標値	—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	大臣級国際会合 1件	活動実績	回	大臣級会合 1件	大臣級会合 1件	大臣級会合 1件	—	
		当初見込み	回	1件	2件	2件	1件	
	各国との外交的な関係強化をその成果としている政策対話等については、各年度の政策課題に応じて機動的に実施することから、事前に数値化ができないが、その実施回数を活動指標として活動実績を示す。	活動実績	回	政策対話等 7回	政策対話等 2回	政策対話等 7回	—	
当初見込み		回	—	—	—	—		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	大臣級国際会議の開催経費(執行額)÷件数	単位当たりコスト	円	2百万円/件	2百万円/件	3百万円/件	—	
		計算式	経費/件	2百万円/1件	2百万円/1件	3百万円/1件	3百万円/1件	
	大臣及び有識者議員の政策対話等経費(執行額)÷回数	単位当たりコスト	円	1百万円/回	5百万円/回	3百万円/回	—	
計算式		経費/回	10百万円/7回	10百万円/2回	22百万円/7回	—		
平成26・27年度予算内 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	諸謝金		0.02	0.02	「新しい日本のための優先課題推進枠」7 「新しい日本のための優先課題推進枠」1			
	職員旅費		14	21				
	委員等旅費		4	5				
	庁費		2	2				
計		20	28					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・科学技術を活用した地球規模課題の解決は、我が国の国民のみならず全世界共通の喫緊の課題であり、国が主体的に諸外国と連携を図る必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・国際会議開催については、事前の情報収集等を綿密に行い、限られた予算の中でより効率的かつ有益な内容としている。 ・また、出張時の割引航空運賃の活用や出張者数及び職務レベルの見直し等により、旅費に係る経費の節減に努めており、コスト水準の適性化が図られている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	・科学技術政策担当大臣と諸外国閣僚との会合及び総合科学技術・イノベーション会議議員による諸外国との科学技術政策対話により、世界と一体化した国際活動の戦略的展開に向け、情報・意見交換を行い、密な科学技術ネットワークを構築することができた。引き続き、当該ネットワークを生かし、情報の発信・収集に努め、今後の科学技術政策に生かす。 ・これまでの成果は、科学技術イノベーション総合戦略の策定等に活用されるなど、科学技術政策に反映されている。 ・平成25年度は、ホストであるアフリカ側において開催準備(日程調整を含む)が進まなかったことから、日本アフリカ科学技術大臣会合(2年に1回)が開催に至らず、活動見込みを達成できなかった。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点検・改善結果	点検結果	・科学技術イノベーション総合戦略の推進等に必要国際活動を実施するため、出席する国際会議の見直しを図るとともに、国内で実施する会議については会議運営を見直し、庁費をできる限り削減している。 ・毎年度、出席する国際会議等の事業見直しを行い、予算の縮減に努めている。(平成23年度と比較して約30%縮減)			
	改善の方向性	・引き続き、これまでの会議の開催実績等を踏まえ、出席する国際会議の見直しを図るとともに、国内で実施する会議については会議運営を見直し、庁費をできる限り削減する。			
外部有識者の所見					
情報の収集・分析、国際会合、政策対話が具体的に、どのような成果を日本の科学技術政策についてもったのか、その事例を示すべきではないか。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、コストの抑制に努めることなどにより、予算の効率的執行に留意すべき。ただし、事業をより効果的に執行するため、適正な成果目標の設定及び情報提供のあり方について検討すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底するとともに、事業見直し等による庁費の縮減に努める。また、本事業の適切な成果目標、効果的な情報提供等のあり方を検討し、事業のより効果的な実施を図る。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	0047	平成24年	0055	平成25年	0132

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)
25百万円

職員旅費 15.7百万円
委員等旅費 5.2百万円
庁費 0.6百万円

を含む

総合科学技術・イノベーション会議(旧「総合科学技術会議」)運営のための国際的な情報収集活動等、国際会議の開催

【随意契約】

A. (公財)国立京都国際会館
1.3百万円

科学技術関係大臣会合を行うための会場の借上げ等

【随意契約(少額)】

B. (株)国立京都国際会館食堂
0.5百万円

科学技術関係大臣会合の昼食会費

【随意契約(少額)】

C. 日本コンベンショナルサービス(株)
0.4百万円

大臣米国出張時の逐次通訳作業

【随意契約(少額)】

D. (株)サイマル・インターナショナル
0.4百万円

科学技術大臣会合における通訳業務

【随意契約(少額)】

E. NIPPON TRAVEL LTD
0.4百万円

大臣出張時の車両借上

【随意契約(少額)】

F. (株)エス・シー・アイ
0.4百万円

国際携帯電話の借上

【随意契約(少額)】

G. (株)会議録研究所
0.1百万円

会議等における速記業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. (公財)国立京都国際会館			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	会議開催経費	1.3			
計		1.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)国立京都国際会館	科学技術関係大臣会合を行うための会場の借上げ等	1.3	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国立京都国際会館食堂	科学技術関係大臣会合の昼食会費	0.5	随意契約【少額】	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンショナルサービス(株)	大臣米国出張時の逐次通訳作業	0.4	随意契約【少額】	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマル・インターナショナル	科学技術大臣会合における通訳業務	0.4	随意契約【少額】	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NIPPON TRAVEL LTD	大臣出張時の車両借上	0.4	随意契約【少額】	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エス・シー・アイ	国際携帯電話の借上	0.4	随意契約【少額】	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)会議録研究所	会議等における速記業務	0.1	随意契約【少額】	—